

# 2021年10月8日 第3364回例会

於： 横須賀商工会議所



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

<点鐘・開会> 12:30 八巻 会長

<斉唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> \*米山奨学生 朴 恃彦様

<会長報告> \*ガバナー事務所より

- ・2020～2021年度ロータリー賞 受賞
- ・2021～2022年度地区委員会 委員ご就任委嘱の件について  
岡田英城会員 地区戦略計画委員会 委員
- ・2024～2025年度ガバナー・ノミネー候補者提案に関する告知について
- ・2024～2025年度ガバナー・ノミネー選出の件について
- ・10月10日デジタルの日について  
10月10日(日) 午前の部:10:00～11:45 午後の部:16:00～17:50  
テーマ「My Rotaryの世界へ」

<米山奨学生への奨学金授与> 朴 恃彦さんへ奨学金授与

<委員長報告> \*会計 杵淵会員より2020-21年度収支会計報告

\*岡田直前会長より2020-21年度収支監査報告について

\*北村ガバナー補佐よりポリオキャンペーン「ポリオ根絶募金活動」について

11月7日(日) 11:00～13:00

場所:①横須賀中央駅周辺 ②京急久里浜駅周辺 ③京急追浜駅周辺

<幹事報告> \*ロータリー米山記念奨学会より

・ロータリー米山記念奨学事業「豆辞典」受領

\*2020～2021年度年間報告書

<出席報告> \*出席委員会 加藤(淳)委員長より10月8日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
121名	110名	82名(13名)	28名	2名	76.36%

<ニコニコ報告>

- ・岡田(宙)、鹿島、久保田、小林(隼) 各会員 誕生月祝いとして
- ・江口、小林(隼)、齋藤(隼)、齋藤(隼)、鈴木(隼)、立石、福島、宮島 各会員 入会月祝いとして
- ・三役 米山奨学生 朴 恃彦さん、新会員卓話 江口浩道会員、本日の卓話よろしくお願いたします。
- ・大石、中村(隼)、小山(隼)、椿、立石、田村、比護、若麻績、畑、鷺尾、木村、八木、植田、勝間、久保田、江沢、猿丸、二瓶、北村、福西、杵淵、高橋、上林、後藤、松本(隼)、渡邊、小佐野、岡田(隼)、勝見、藤村、長尾、鈴木(豊)、鹿島、小山(隼) 各会員  
米山奨学生 朴 恃彦さん、新会員卓話江口会員、やっと順番が来ましたね、本日の卓話を楽しみにしています。
- ・江口 会員 新会員卓話頑張ります。
- ・大野(隼)、田中(宙)、植田、勝間、瀬戸、久保田、江沢、齋藤(隼)、八巻、加藤(隼)、北村、福西、杵淵、高橋、徳永、岡田(隼)、田中(隼)、根岸、齋藤(隼)、鈴木(豊) 各会員  
2020-21年度ロータリー賞受賞おめでとうございます。やったね!横須賀RC!
- ・角井、久保田、笠木、小山(隼) 各会員 市内23校の中学校に10月1日から給食が届けられています。温かいものは温かく、冷たいものは冷たく、新しい取り組みがスタートしました。

## <卓話 1>

米山奨学生 朴 特彦様

皆さまこんにちは。米山奨学生となって6ヶ月が経ち、本日5回目の参席ですが、毎回とても緊張しており、本日は特に緊張しています。自分についてのお話をさせていただく前に、今僕がどういう風に勉強をしているか、そして卒業後の計画についてどのように考えているかをお話します。

6年生は、授業が9時から始まり16時半まで行われています。その後僕は学校に残って22時まで勉強して、それから友達のマンションに一緒に行き、1時まで勉強するという日常を過ごしています。もちろんずっと勉強しかしていないという話を聞くと、ちょっと嘘だと思われるかもしれませんが、6年生は思ったより大変で、自分としては頑張っております。そして卒業後は日本に残って研修医をさせていただき、その後はロータリー奨学金に希望を出した時点では、歯内療法に関して勉強させて頂きたいと思っていたのですが、今はもう少し社会に貢献できるような科目を勉強したいと考えており、大学院まで行って勉強したいと思っています。短くもあり長くもある6ヶ月が経ちましたが、米山奨学生になって、機会こそ多くないものの、すごく良い人に出会えました。特に感謝の気持ちをお伝えしたいのは、カウンセラーをしてくださっている八巻さん、そして佐久間先生そして江口さんの3名で、改めてこの場で感謝をお伝えします。5年生になってから母国である韓国にまだ戻れておらず、6年生になって少し気持ちが沈んだ感じがし、成績も少し下がってしまった時期がありました。そんな時、佐久間さん、八巻さん、そして江口さんが個人的に連絡をしてくださり、「頑張る」と声をかけていただいたので、もう一度気持ちを持ち直して、また勉強を頑張れるようになり、最近は成績が回復してきました。自分の記憶力がよくなく、まだ名前がはっきり頭に浮かばない方も多いですが、本日初めてお目にかかった鹿島先生、そしていつも笑顔で挨拶してくださる小山さんへ感謝申し上げます。自分が米山奨学生となって、自分に何ができるかを考えることが多くなり、6年生になる前はボランティア活動であれば、学生の自分でもできると思っていたのですが、コロナのこともあり、その機会がほとんどありません。しかし卒業した後、ロータリーへの感謝の気持ちを一生持ち、社会に貢献できる歯科医師になれるよう、今は目の前の試験にむけ頑張る勉強を続けています。



## <卓話 2>

江口 浩道 会員

皆様、こんにちは。私は、昨年9月、鹿島会員のご紹介で、歴史ある「横須賀ロータリークラブ」に入会させていただきました。神奈川歯科大学の江口でございます。今日は、卓話という大変貴重な機会をいただきまして、大先輩方を前にいささか緊張しておりますが、最後までお付き合いいただければ幸いです。これまで多くの先輩方のお話を伺ってまいりまして、本日どのようなお話をすればよいのか大変迷いましたが、思い返せば、「私と横須賀市との間には少なからぬご縁(えん)」があったことに気がきましたので、本日はそのお話をしたいと思います。まず、本題に入る前に、私の簡単な生い立ちをお話します。私は、1961年2月に茨城県は潮来に生まれました。潮来といえば、“潮来花嫁さん”あるいは、“水郷潮来”更には“潮来の伊太郎”と言えどご存じの方も多いかと思います。その潮来です。潮来花嫁さんと毎年6月に開催されるあやめ祭りはコロナ禍でなければ多くの観光客で賑わうイベントです。私は、小・中・高、そして大学とこの茨城で学びました。大学への進学を考え始めた頃、私には、現在1級建築士の兄がおり、その影響もあって、当初は兄と同様に工学部を目指し、高校入学時には理科系を専攻しました。しかし、兄が大学の夏休みに帰省していた時でしたが、応接間のテーブルの上に1冊の本を兄が置き忘れていて、私はその本を何気に手に取り読んでみると、ニュースで報じられている為替相場の変動の仕組みや・金融経済とのかかわりなどが分かり易く書かれていて、兎に角“おもしろい”と感じ一気に読み切ってしまいました。そしてこの本との出会いが、私の進路・人生を大きく変えることになりました。この夏休み明け、私は早速担任の先生に大学受験では工学部ではなく、金融・経済を学べる学部を受験したいと申し出ました。そして、受験する大学についても、数学が生かせる経済学部を持つ筑波大学を受験したいと伝えたのです。担任の先生は数学の専門家で、当時は経済学部といえば文系とのイメージがありましたから、最初は驚いた様子でしたが、数学を生かせる経済学部ということで、先生も詳しく調べてくださり、最終的には私の希望に賛同し、背中を押してくださいました。そして私は、1979年筑波大学に入学し、金融・経済学を中心に学びました。また、これはとても偶然なのですが、金融論の授業の先生が日本銀行からいらしている方だったのです。その時点での日本銀行に関する私の知識は、①発券銀行、②銀行の銀行、③政府の銀行という一般的なものでしたが、先生から様々な日本銀行の実践的な役割についてお聞きし、その頃から日本銀行に少しずつ興味を持ちました。そして大学4年の時の就職活動では、就職先の第1希望に日本銀行を掲げ、1983年4月、希望がかない日本銀行に入行することができました。私の入行同期は40数名おりました、入行して約半年後、全員が当時全国、北は北海道から南は沖縄まで33か所にある支店に転勤することになり、どの支店に配属となるのか大変注目したものでした。そしていよいよ発令内示の日、何と上司から、「江口君、君は沖縄県的那覇支店勤務となる。頑張りなさい」との内示をいただいたのです。その瞬間は大変驚いたと同時に本当に寒がりだった私としては、むしろ南国勤務でホッとしたというのが実感でした。着任した12月の那覇は、天気が良ければ20℃以上となります。着任早々、先輩に誘われて行った無人島のコマカ島では、何とこの寒がりの私が12月にもかかわらず海水浴を楽しむという経験をしました。また、クリスマス、お正月いづれも温かく、半袖で過ごせる陽気に戸惑いながらも、開放的な雰囲気とエメラルドグリーンの海に囲まれた沖縄では実に充実した支店生活を送ることができました。そして約2年後、本店に異動となり、以後33年間は、調査統計局、国際局、企画局等々、様々な仕事を経験しましたが、最後は総務人事局で仕事をし、2019年2月末をもって日本銀行を退職し、その翌日の3月1日から鹿島理事長率いる神奈川歯科大学にお世話になることとなり、沖縄同様、青い海と米軍基地のある横須賀市



で私の第2の人生がスタートしたのです。それでは、前置きがやや長くなりましたが、本日の本題である、私と横須賀市との少なからぬご縁についてお話をさせていただきます。

既に亡くなった私の義理の父親は、今から12年前、この三浦半島は田浦にある病院で入院・治療を受けたことがありました。その際、妻は父親の気分転換にと、偶然、本学に隣接する三笠公園に義母と3人でドライブ方々、散歩に訪れていました。軍艦三笠の前で記念写真を撮り、束の間の楽しいひと時を過ごし、海を臨む開放的な雰囲気のある公園が大変印象に残っていたようです。また、公園近くのお店でお土産に買った海軍カレーを帰宅後家族で初めていただき、とても美味しかったと感じたことを覚えています。もちろんこの時は私が神奈川県立歯科大学に将来再就職することになるとは知る由もありません。今思うとこの時から私と本学・横須賀市とを結ぶ糸が紡がれ始めていたようにも思います。これが“ご縁その1”です。私には既に社会人として一人暮らしをしている二人の息子がいます。私が神奈川県立歯科大学に再就職することを息子達に初めて伝えたのは、着任の直前でした。その時です、次男が驚いたように、“お父さん、僕、神奈川県立歯科大学の正門前でかなり以前だけ撮った写真が今でもスマホに残っているよ”と言い出したのです。その写真を見せてもらうと、私の再就職の話が決まる何と約4年も前の2015年4月25日に撮影したものでした。どうしてここで撮った写真があるのか、話を聞いてみると、息子の大学の研究会の知人に神奈川県立歯科大学の学生さんがいたとのことで、皆で横須賀にドライブに来た時に撮影したものだというのです。私はその写真を見て本当に驚いて、一瞬目が点になってしまいました。まさか私よりも前に本学に来ていたとは！！これが“ご縁その2”です。そして最後、3つ目のご縁です。昨年神奈川県新聞で連載されました、本学の鹿島理事長の“わが人生”63回シリーズ、また、本年4月出版されました“婆沙羅な人生に破顔一笑する”は、この場にご参加の皆様もお読みになった方が多いかと思えます。新聞であれば第16回に、「鹿島家の系図を紐解くとルーツは常陸の国・鹿島村とあり、今の茨城県の鹿島神宮近辺かと思われます」との記述を見つけた時です。私はハッと驚きました。冒頭申し上げましたが、私の出身地の潮来市は、鹿島理事長のルーツである鹿島村、現在の鹿島市の何と隣街です。鹿島市は鹿島神宮をはじめ鹿島サッカースタジアムや鹿島臨海工業地帯として知られた有名な都市です。そして私の親戚が実はこの鹿島神宮前に今でも住んでおられて子供の頃よく遊びに行っておりました。まさに、鹿島理事長とのご縁を感じた瞬間でした。このように、私はこれらの数々のご縁に導かれるように、この横須賀の地に住まい、神奈川県立歯科大学にお世話になることになったように、今では思っております。私は改めて、この3つのご縁を噛みしめ、沖縄を第2の故郷とすれば、この横須賀の地を第3の故郷と思い、地域の皆様に少しでもお役に立てるよう最善を尽くしたいと思っております。私が勤務します神奈川県立歯科大学には附属病院が隣接しています。この病院は歯科大の附属病院ですが内科も充実しています。横須賀ロータリークラブの皆様をはじめ地域の皆様の健康長寿の実現に是非ともお役に立っていきたくと考えていますので、何時でもお気軽にご利用・ご相談ください。最後となりましたが、本日は、私のお話を最後までお聞きくださりまして、誠にありがとうございました。今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。ご清聴誠にありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 八巻 会長

週報担当 来生 亮